

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

## インフルエンザ(新型インフルエンザ)情報

インフルエンザ患者数は県内の内科と小児科の医療定点(199 か所設置)からの報告によるものですが、現在はほとんどが新型インフルエンザ患者と考えられています。インフルエンザの定点あたり患者数は **22.09 人**(先週 16.50 人)と増加して、県全体としても注意報レベルの 2 倍にあたる定点あたり 20 人以上となりました。

地域的にも全県的に拡大しており、伊丹保健所管内及び朝来保健所管内で警報レベルの定点あたり 30 人以上、神戸市、尼崎市、姫路市、加古川保健所管内及び加東保健所管内で定点あたり 20 人以上、西宮市、芦屋保健所管内、宝塚保健所管内、明石保健所管内、龍野保健所管内及び中播磨保健所管内で注意報レベルである定点あたり 10 人以上となっています。

患者の年齢分布は 10 歳未満が 44%(先週 41%)、10 歳代が 47%(同 53%)、20 歳以上が 8%(同 6%)となっており、10 歳代の患者が全体の半数を占めています。中でも 10 歳代前半である 10-14 歳が全体の 39%となっています。

県内の学校でのインフルエンザによる学級閉鎖等の状況は休校 21 校(前週 5 校)、学年閉鎖 128 校(84 校)及び学級閉鎖 317 校(242 校)の合計 466 校(先週は 331 校)と大幅に増加しました。社会福祉施設等(保育所を除く)でのインフルエンザ集団発生状況は 17 施設(先週は 51 施設)でした。詳しくは兵庫県のホームページの新型インフルエンザ記者発表資料をご覧ください。

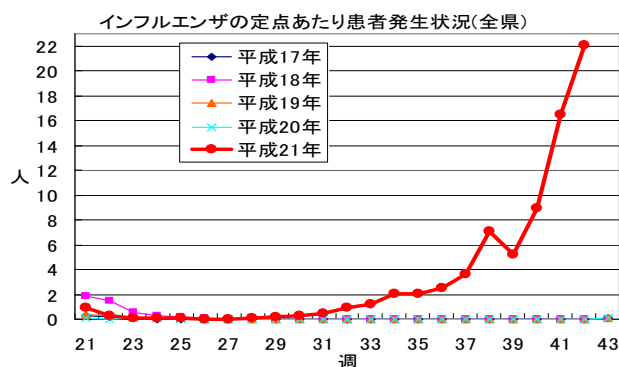
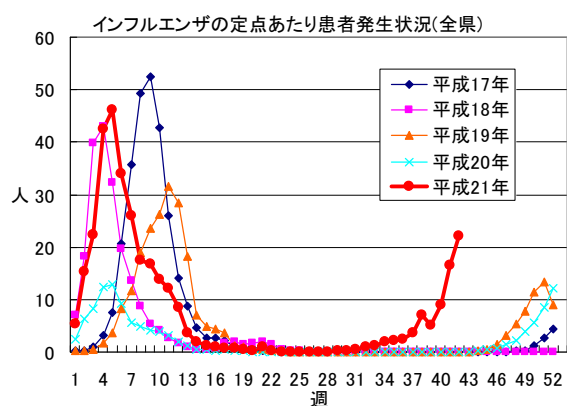
<http://web.pref.hyogo.jp/contents/000138505.pdf>

都道府県別では北海道、秋田県、埼玉県、東京都、神奈川県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、福岡県及び沖縄県にインフルエンザ流行の警報レベルの保健所が、青森県などの 26 県に注意報レベルの保健所があります。

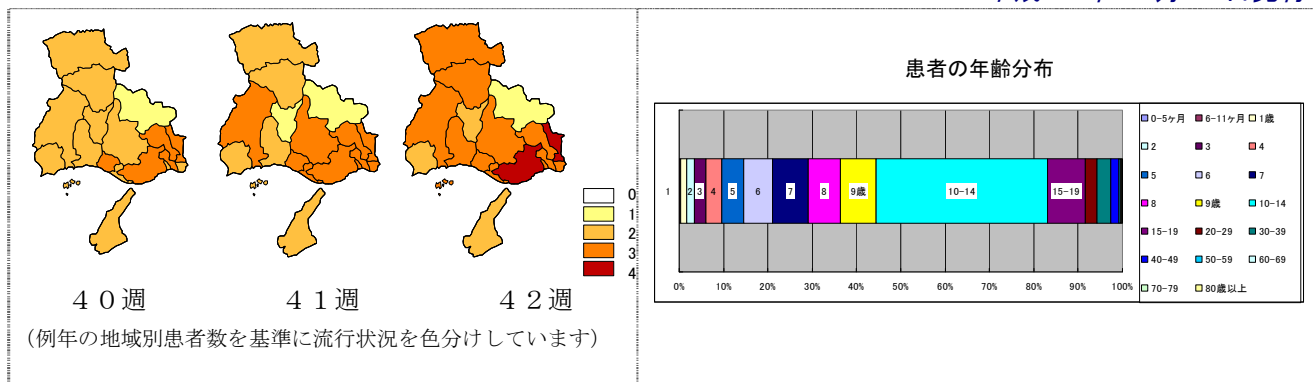
新型インフルエンザの予防として、手洗い、うがい、咳エチケットの励行、マスクの着用など、インフルエンザに罹らない、広げない対策が重要です。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。受診に際しての注意点等は次のホームページをご覧ください。

<http://web.pref.hyogo.jp/contents/000138505.pdf> (兵庫県新型インフルエンザ記者発表資料)

<http://web.qg.pref.hyogo.jp/hyogo/> (兵庫県医療機関情報システム)



(左のグラフの部分拡大図)



新型インフルエンザに関する情報は次のホームページ（HP）でもご覧ください。

- ・厚生労働省のHP (<http://www.mhlw.go.jp/>)
- ・厚生労働省：新型インフルエンザ最新情報 (<http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/kenkou/influenza/index.html>)
- ・国立感染症研究所感染症情報センターのHP (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)
- ・兵庫県のHP：新型インフルエンザ対策について (<http://web.pref.hyogo.jp/ac02/influenza.html>)

### 定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

順位	疾病名	定点あたり患者数		増減	順位	疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	インフルエンザ	22.09	16.52	+5.57	6位	流行性角結膜炎	0.23	0.26	-0.03
2位	感染性胃腸炎	2.53	3.03	-0.50	7位	手足口病	0.22	0.17	+0.05
3位	水痘	0.47	0.24	+0.23	8位	流行性耳下腺炎	0.21	0.35	-0.14
4位	突発性発しん	0.45	0.42	+0.03	9位	RSウイルス感染症	0.15	0.06	+0.09
5位	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.30	0.47	-0.17	10位	ヘルパンギーナ	0.13	0.26	-0.13

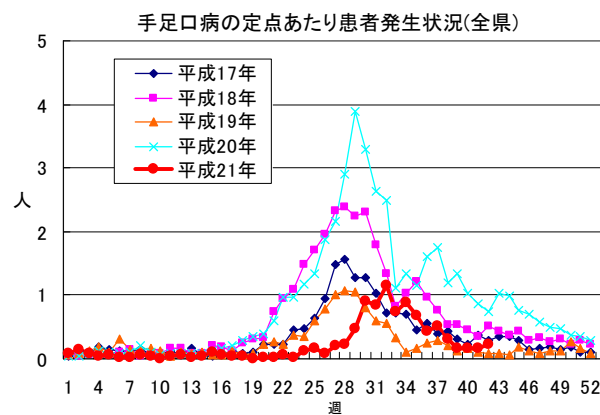
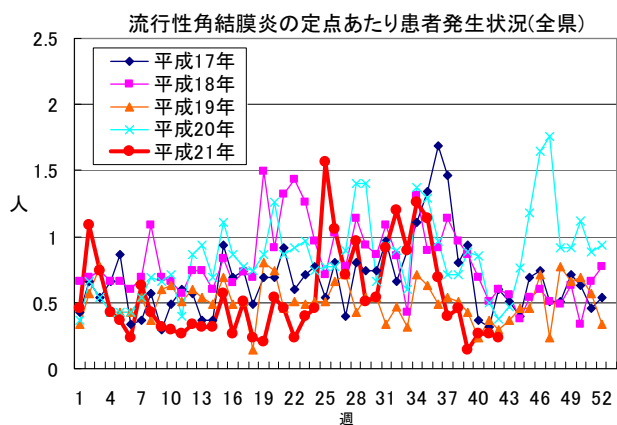
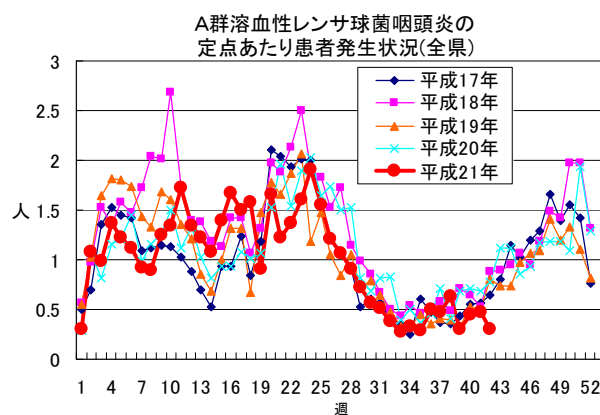
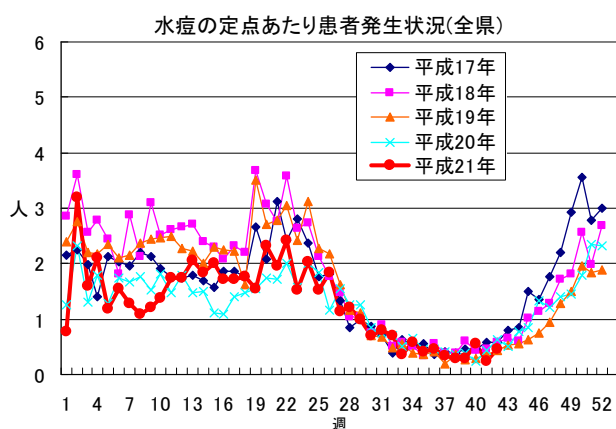
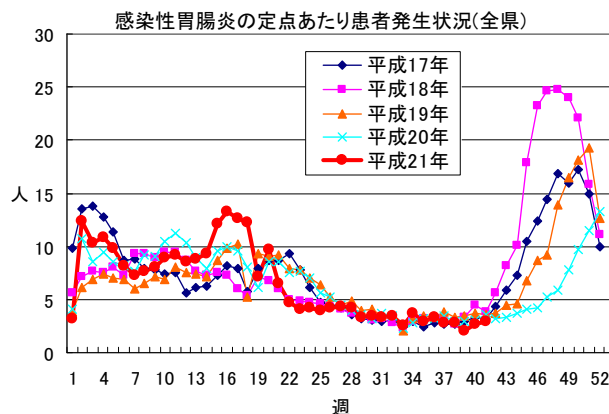
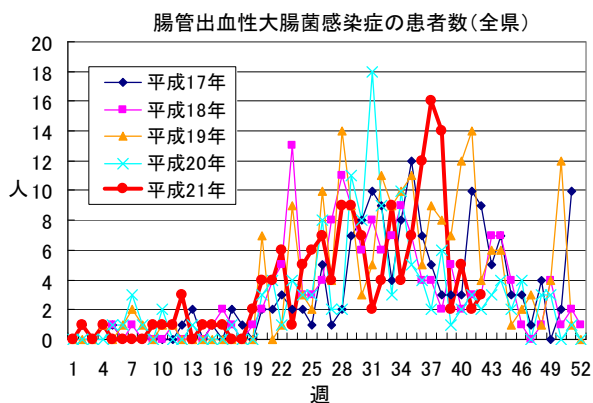
### 全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1類感染症	報告はありません。
2類感染症	<b>結核 18名</b> （神戸市 4名、尼崎市 4名、姫路市 2名、西宮市 2名、明石保健所管内 1名、加古川保健所管内 3名、洲本保健所管内 2名）
3類感染症	<b>細菌性赤痢 1名</b> （尼崎市）、 <b>腸管出血性大腸菌感染症 3名</b> （神戸市；026 VT1+VT2+ 1名、姫路市；0157 VT2+ 1名、明石保健所管内；0157 VT2+ 1名）
4類感染症	<b>レジオネラ症 2名</b> （尼崎市 2名）
5類感染症	<b>急性脳炎 1名</b> （神戸市；新型インフルエンザ）
追加報告	<b>結核 11名</b> （尼崎市 1名、姫路市 1名、宝塚保健所管内 1名、丹波保健所管内 3名、洲本保健所管内 5名）、 <b>腸管出血性大腸菌感染症 1名</b> （姫路市；0157 VT1+）、 <b>アメーバ赤痢 1名</b> （西宮市）

### 検査情報（兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センター）

姫路市内の医療機関を受診したヘルパンギーナ患者 1名（2歳）からコクサッキーウイルス A10型が分離されました。

目で見える動向（県内）



この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。  
 また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDWR)がダウンロードできます。